

公共事業再評価調書

整理番号 H15 - 45

担当部課室名	県土整備部 都市計画課	電話番号	017 - 734 - 9684
		E-MAIL	toshikei@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (10年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	------------	----------	---------

1 事業概要

事業種別	公園事業	事業主体	県 市町村 其他 ()
事業名	都市公園整備事業	地区名等	三八城公園 市町村名 八戸市
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国 50% 県 % 市町村 50% 其他 %
採択年度	6年度 (用地着手 年度 / 工事着手 6年度)		
終了予定年度	21年度 (12年 3月計画変更 当初計画時 11年度)		
事業目的	(1) 当該地区の三八城公園は、開園から40年が経ち、施設の老朽化や樹木の繁茂により、事故・犯罪の発生が懸念されるため、安全で安心な憩いの場、交流の場となる公園として整備する。(2) 中心市街地に残る唯一の緑地空間であることから、「八戸都市圏の顔」となるべく公園環境の質の向上を図るとともに、災害時の一次避難地となるオープンスペースを整備する。		
主な内容	A=1.6ha 園路広場工 (自然石園路等) 修景施設工 (築山・池・流れ・植栽・芝生) 休養施設工 (ベンチ) 遊戯施設工 (コピネーション遊具) 便益施設工 (トイレ・水飲み) 管理施設工 (照明灯)		
事業費	採択時総事業費 1,410 百万円		(単位:百万円)
		~12年度	13年度
	計 画	311	62
	(うち用地費)	(0)	(0)
12年3月変更			
実 績	311	43	
(うち用地費)	(0)	(0)	

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗 46.7% [/]	年次計画に対する進捗 61.7% [/]
			(%) [/]	(%) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	園路広場工 (313百万円)	33.6%	46.3%
		修景施設工 (279百万円)	52.3%	69.1%
管理施設工 (66百万円)		87.8%	92.1%	
説明	(1) 当該公園の西側斜面は急傾斜危険区域に指定されており、県施行の急傾斜地崩壊対策事業が平成10年度から施工され、公園整備区域の一部が使用されたため公園工事の施工場所が限定された。(2) 当該公園は、八戸藩城址として埋蔵文化財包含地に指定されており、発掘調査後に公園工事を施工しなければならなかった。			
問題点・解決見込み	平成12年に、事業計画の見直しを行い、回廊・御門・築地塀・集舎施設等の計画を取り止め、5億3千万円の減額を図った。又、急傾斜地崩壊対策事業が平成14年で完了したこと、及び発掘調査は工事内容と調整することにより、今後は計画どおり実施できる見込みである。			
事業効果発現状況	整備済区域を順次開放し、中心市街地の憩いの場、交流の場として利用されている。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 災害時の避難地不足、都市のヒートアイランド現象等市街地における緑化空間の創出が求められている。	【県内の評価】 青森県広域緑地計画では、目標水準が2008年16m2、2018年20m2となっている。
	当地区における評価	・平成13年度末の当市の1人当たり公園面積は8.50m2であり、県平均の12.69m2より低い数値となっている。 ・当該公園は、もともと八戸藩の城跡であったものを、昭和21年に南部氏より寄付を受け、昭和32年に公園として整備し開放したもので、八戸発祥の地として、また数少ない桜の名所として市民に親しまれてきた。しかし、開園より40年が経ち、遊具など施設の老朽化が著しく、又高密度に植栽された樹木がうっそうと繁り、事故・犯罪の発生が懸念されている。	
必要性	(1) 開園から40年が経ち、施設の老朽化や樹木の繁茂が著しく、事故・犯罪の発生が懸念されており、問題解決が急務である。(2) 公園周辺は住宅密集地であり、災害時の一次避難地となるオープンスペースを創出する必要がある。(3) 八戸都市圏の顔である中心市街地に残る唯一の緑地空間であり、魅力ある街づくりのために高質化を図る必要がある。		(a) ・ b
適時性	(1) 新幹線八戸駅開業に伴う観光客誘客の根本となる、魅力ある中心市街地づくりとして公園の整備が望まれている。(2) 開園から40年が経ち、施設の老朽化が著しく、危険であり事故・犯罪の発生が懸念されている。(3) 第七次都市公園等整備5ヵ年計画に明示され、計画的な整備が位置付けられている。		(a) ・ b
地元の推進体制等	地元より、施設の老朽化や樹木の繁茂により、事故・犯罪の発生が懸念されるので、早急な改築を要望されている。		(a) ・ b
効率性	-		

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)建設費	百万円	838 百万円	百万円
	(2)用地費	百万円	- 百万円	百万円
	(3)維持管理費	百万円	15 百万円	百万円
	(4)	百万円	百万円	百万円
	(5)	百万円	百万円	百万円
	総費用		853 百万円	百万円
便益項目 (B)	(1)利用便益	百万円	2,004 百万円	百万円
	(2)環境便益	百万円	1,849 百万円	百万円
	(3)災害便益	百万円	3,853 百万円	百万円
	(4)	百万円	百万円	百万円
	(5)	百万円	百万円	百万円
	総便益	百万円	7,706 百万円	百万円
B / C			9.03	
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等) 小規模公園費用対策効果分析マニュアル 【費用対効果分析における特記事項】 採択時未実施				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 (1)既存の樹木を活用し、季節性の有る緑陰空間として利用する。(2)時代性のある樹木を保存し、シンボリック空間として利用する。(3)周辺樹木を整理し、市街地からの景観を考慮した緑地帯として利用する。	(a) ・ b
代替案	【代替案の検討状況】 当該公園は歴史的価値があり、市民の認知度も高く、適地である。	(a) ・ b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 ・平成13年10月に、都市計画マスタープラン策定のため、市民4000名を無作為抽出し、アンケート発送し1291名から回答を得た。 ・要望	【住民ニーズ・意見】 ・八戸市の好きな景観・残しておきたい景観と、好ましくない景観・問題のある景観の質問に対して、両方にリストアップされた。 ・地元からは、施設の老朽化や樹木の繁茂により、事故・犯罪の発生が懸念されるため、早急な改築要望がある。	(a) ・ b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1)地域区分 <input type="text" value="H5d"/> (2)対応状況 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない 【特記事項】 (1)城址公園として、歴史・文化・自然の保全と継承を最優先に考慮する。(2)市街地の中の身近に自然とふれあえる公園として、緑と水辺の空間を創出する。	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 <input type="checkbox"/> 配慮している <input type="checkbox"/> 配慮していない	(a) ・ b
地域の立地特性	当該公園は、(1)他城下町のような天守閣・堀等目立つ構造物は無いが、八戸藩2万石の本丸跡であり、近世八戸の発祥の地として市民に親しまれている。(2)中心市街地に位置するため地域住民のほか、通勤・通学・観光客が利用するなど、都心部の貴重な緑の空間となっている		

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続 <input type="checkbox"/> 計画変更 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本三八城公園整備事業は、八戸南部藩の歴史と文化と自然を保存し継承する公園として、また、八戸都市圏の顔である中心市街地のうるおい空間として整備を進めており、事業を継続としたい。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり <input type="checkbox"/> 対応方針(案)を修正すべき <input type="checkbox"/>
委員会評価	継続 <input type="checkbox"/> 計画変更 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	
評価理由	